



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)天下茶屋3丁目ホテル新築工事	
建設地	西成区天下茶屋3丁目	
建物用途	ホテル	
建築主		
設計者		
竣工年	2027年9月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上11階	
敷地面積	806.78 m ²	
建築面積	363.81 m ²	
延床面積	2472.33 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
B- BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	★☆☆☆☆ 30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 □建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト ①参照値 100% ②建築物の取組み 79% ③上記+②以外のオンサイト手法 79% ④上記+オフサイト手法 79% (kg-CO₂eqe/年・m²) このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.5		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.1
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 1.25%≦[昼光率] JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。	Q2 サービス性能 天井高2.5m以上。 耐震クラスA。 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI=0.62。	LR2 資源・マテリアル 床:ビニル系床材、断熱材 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ホールライフカーボン排出率79%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	ホールライフカーボン排出率79%。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	BPI _m =0.62。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.7
配慮事項	特になし。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準であること。

外皮性能		住宅部分（品確法等級） 対象外 （相当）	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.62
一次エネルギー消費量		住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.73